

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成6年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業 [担当：全員]
2. 沖縄文化と東南アジア少数民族文化との比較のための調査研究 [担当：全員]
 - A 雲南省少数民族文化調査 平成6年3月15日～23日 [担当：加治工真市教授・波照間永吉教授]
 - B 第3回ラオス民族文化調査 [担当：柳悦州助教授・久万田晋講師] 平成6年12月4日～19日
3. 柳宗悦研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋講師]
4. 東南アジア文化研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋講師]
5. 八重山の伝統舞踊の調査研究 [担当：波照間永吉教授・久万田晋講師]
6. 公開講座 沖縄の芸術と文化シリーズ第1回「沖縄文化概論－近世琉球のくらしと芸術－」
 - 第1回 9月22日 小野まさ子（共同研究員、前原高校）
「近世期琉球の王国社会と交易」
 - 第2回 10月7日 新城敏男（共同調査員、石垣市史編集室）
「近世期八重山の社会と技術」
 - 第3回 10月20日 赤嶺政信（共同研究員、琉球大学助教授）
「沖縄の民俗社会と祭祀信仰」
 - 第4回 11月10日 栗国恭子（浦添市立図書館）
「宮古諸島の祭祀信仰」
 - 第5回 11月24日 加治工真市（附属研究所長）
「琉球方言と人々の暮らし」
 - 第6回 12月8日 波照間永吉（附属研究所教授）

「ムラの暮らしと文学」

第7回 12月22日 上原孝三（共同研究員、沖縄尚学高等学校）

「宮古諸島の祭祀歌謡」

第8回 1月12日 大城学（共同調査員、沖縄県教育庁文化課）

「琉球王国の社会と芸能」

第9回 1月26日 ホルスト・S・ヘンネマン（附属研究所教授）

「「大和の風」－琉球王朝と茶の湯」

第10回 2月9日 久万田晋（附属研究所講師）

「沖縄における民俗舞踊の展開」

第11回 2月23日 柳悦州（附属研究所助教授）

「御絵図帳にみる近世琉球の染織」

（2）芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究

A 南島歌謡語の研究 石垣市四ヶ集落 [担当：波照間永吉教授]

B 沖縄の神歌の調査研究

C 西表島古見の伝統文化の調査研究 [担当：加治工真市教授・波照間永吉教授・森田孫栄調査員・大底朝要調査員・新本貞男調査員]

2. 沖縄古語辞典の執筆 [担当：加治工真市教授・波照間永吉教授]

3. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [担当：加治工真市教授]

4. おもろ研究会 [担当：波照間永吉教授「おもろ研究会」（仲宗根政善代表）を開催]

5. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授]

6. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開研究発表会 平成7年3月31日 沖縄県立芸術大学

内間直仁（千葉大学教授）「沖縄方言の可能表現について」

外間守善（法政大学教授）「琉歌について」

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄織物の研究 [担当：柳悦州助教授]
 - A 沖縄織物画像データベース作成のための基礎研究とデータ収集
 - B 沖縄織物の研究
 - C 鎌倉芳太郎紅型型紙資料の画像データベース作成と基礎研究
 - D 技法研究
2. ラオスの織物文化研究 [担当：柳悦州助教授]
3. 沖縄伝統工芸の研究 [大嶺實清教授・和宇慶朝健教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究
 - A 沖縄本島臼太鼓の調査研究 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]
 - B 奄美諸島の民俗芸能・音楽調査研究 [担当：久万田晋講師]
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・横道萬里雄客員教授・久万田晋講師]
3. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]
4. 公開講座「インドネシアの音楽文化ーガムラン音楽・理論と実習」平成7年2月1日～18日 全10回 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]

Ⅱ 主要研究業績（平成6年1月～12月）

- 1) 主要研究業績
 1. 著書・編書 2. 論文 3. 作品発表・公演 4. 研究発表 5. 解説等
 6. 講演・放送 7. その他
- 2) 助成研究
 1. 平成6年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 - a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
 2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究

3. その他

(1) 研究所長

加治工真市（教授、兼任教員）

- 1) 1. 『現代日本語方言大辞典』 巻8（平山輝男他編）明治書院 平成6年3月。
1. 『浦添・小湾方言辞典』（小湾字誌編集委員会編 中本正智、加治工真市、野原三義、名嘉真三成、橋尾直和の5名による調査・執筆）
4. 「琉歌・組踊語の動詞、助動詞の活用について」沖縄県立芸術大学附属研究所研究発表会 平成6年3月27日 沖縄県立芸術大学。
7. 書評「本永守靖著『琉球生圏生活語の研究』（春秋社）」『沖縄タイムス』平成6年2月22日。
7. 書評「多和田真一郎著『琉球・呂宋漂海録の研究』（武蔵野書院）」『沖縄タイムス』平成6年7月19日。
- 2) 2. 「タイ・ラオス民族文化研究」研究代表者。

(2) 芸術文化学部門

Horst Siegfried Henneman（ホルスト・S・ヘンネマン、教授、兼任教員）

波照間永吉（教授、専任教員）

- 1) 2. 「沖縄八重山の祭祀歌謡」『沖縄文化研究』第20号 平成5年12月11日。
2. 「西表島古見の結願祭と狂言」『沖縄芸術の科学』第7号 平成6年3月31日。
2. 「西表島古見の結願祭の芸能『亀組』」『沖縄県の民俗芸能－沖縄県民俗芸能緊急調査報告書－』 平成6年3月30日。
2. 「沖縄の古代文学研究－『神話』研究の現場から－」『沖縄文化の源流を探る－環太平洋地域の中の沖縄－』 平成6年3月31日。
2. 「あとがき」『沖縄文化の源流を探る－環太平洋地域の中の沖縄－』 平成6年3月31日。

2. 「『ことば』－その母なるもの－宮城信勇先生の文化講演会に寄せて」『八重山日報』 平成6年3月22日。
2. 「ことば咲い渡り」『沖縄タイムス』 平成6年1月～4月（外間守善・仲程昌徳氏と分担執筆）。
4. 「国頭地方とオモロ」国頭・中頭地区社会教育委員連絡協議会合同研修会 平成6年2月23日 名護青年の家。
4. 「おもろを語る－恩納のオモロにふれながら－」平成6年度恩納村社会教育指導者研修会 平成6年5月27日 恩納村コミュニティーセンター大ホール。
4. 「久米島とオモロ」国指定史跡具志川城跡歌（おもろ）碑建立除幕式及び祝賀会 平成6年6月15日 国指定史跡具志川城跡。
4. 「ムラの暮らしと文芸」平成6年度沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座第6回 平成6年12月8日 沖縄県立芸術大学。
4. 「イザイホー・竹富島の種子取り祭りのビデオ鑑賞会解説」第43回 沖縄・八重山文化研究会 平成6年12月18日 沖縄県立芸術大学。
6. 「オモロと生活」琉球放送モーニングサロン 毎週月曜日出演 平成6年1月3日～4月4日。

（3）伝統工芸部門

大嶺實清（教授、兼任教員）

- 1) 3.8月 陶壁『早暁曼陀羅』製作 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館壁面。
- 3.10月 個展 鎌倉市 鎌倉まじょえん すぺーす・ま・。
- 3.10月 個展 秋田市 ギャラリー大村。
- 3.10月 第3回《街と彫刻展》出品 那覇市 パレットくもじ前。
- 7.4月 沖縄県立現代美術館建設検討委員会（座長）。

和宇慶朝健（教授、兼任教員）

- 1) 3.3月 第44回《沖展》 浦添市民体育館。
- 3.5月 第37回《新象作家協会展》 東京都美術館。

3. 9月 県展 宜野湾市体育館。
7. 9月 浦添美術館版画教室講師（15回）。

柳 悦州（助教授、専任教員）

- 1) 2. 「ラオス シェンルアン村の織物調査報告」『沖縄芸術の科学』第7号 平成6年3月31日。
2. 「Characteristics of Okinawan Kasuri Textiles — Comparison of Miezu and Okinawan Textiles — 」『沖縄県立芸術大学紀要』第2号 平成6年3月。
2. 「タンニン酸—鉄媒染による絹の劣化」『製糸絹研究会誌』第三巻 平成6年12月。
3. 4月 第68回《国展》「MD-94. 3-18」 東京都立美術館。
3. 4月 《芸大教員14人展—工芸専攻—》「藍地経ずらし拵着物」他3点 浦添美術館。
4. 「ラオスの紋織物について」ラオス民族文化調査報告会 平成6年2月27日 沖縄県立芸術大学。
5. 「ラオス染織調査報告」『沖縄タイムス』平成6年2月26日。
6. 講演「ラオスの染織」沖縄県立博物館文化講座 平成6年6月18日 沖縄県立博物館。
7. 第2回ラオス民族文化調査 平成5年12月22日～平成6年1月7日。
7. 第3回ラオス民族文化調査 平成6年12月4日～19日。
- 2) 2. 「琉球王朝時代における『御絵図』」研究代表者：祝嶺恭子。
2. 「タイ・ラオス民族文化研究」研究代表者：加治工真市。
3. 国立民族学博物館共同研究「東アジアにおける機織り技術の民族学的研究」研究代表者：吉本忍。

（4）伝統芸能部門

宮城能鳳（教授、兼任教員）

- 1) 3. 1月 首里城祭《迎春の宴》に出演 舞踊「伊野波節」を踊る。
3. 1月 文化振興基金造成琉球舞踊特別公演《歓びの正月遊び》に出演

- 舞踊「高平良萬歳」を踊る。
3. 2月 沖縄県生涯学習振興課長寿学園舞台発表会において組踊「執心鐘入」の演出・指導。
3. 2月 国指定重要無形文化財平成5年度「組踊」伝承者研修発表会において組踊「姉妹敵討」の演出・指導。
3. 3月 野村流音楽協会組踊地謡研修部組研第12回発表会《組踊と舞の夕べ》に出演 組踊「執心鐘入」宿の女役。
3. 3月 国指定重要無形文化財平成5年度第6回伝統組踊保存会公演に出演 組踊「萬歳敵討」謝名の子役。
3. 3月 沖縄県立芸術大学第1回卒業演奏会において組踊「手水の縁」の演出・指導。
3. 3月 野村流音楽協会創立70周年記念公演に出演 舞踊「かぎやで風」を踊る。
3. 6月 佐敷町文化センター落成記念公演に出演 舞踊「柳」を踊る。
3. 6月 文化庁長官来沖《組踊鑑賞会》に出演 組踊「萬歳敵討」真鍋樽役。
3. 6月 伊丹市主催《琉球王朝絵巻～首里の宴》に出演 舞踊「伊野波節」を踊る。
3. 7月 香川県文化会館主催 第117回芸能鑑賞会《琉球舞踊公演会》に出演 舞踊「花風」「高平良萬歳」「加那よう天川」を踊る。
3. 9月 沖縄県生涯学習振興課長寿学園専門課程公開講座の講師を勤める。
3. 11月 首里城祭《御冠船踊の宴》に出演 組踊「二童敵討」母役。
3. 11月 野村流音楽協会第9回組研・舞研地謡研修合同発表会に出演 舞踊「高平良萬歳」を踊る。
3. 12月 野村流音楽協会組踊地謡研修部研修発表会に出演 組踊「手水の縁」「萬歳敵討」の演出・指導。
3. 12月 沖縄芸能連盟定期公演に出演 組踊「花売の縁」乙樽役。

金城 厚（助教授、兼任教員）

- 1) 1. 『南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究 平成5年度科学研究費補助金研究成果報告書』沖縄県立芸術大学 平成6年3月31日。
2. 「伝統的音楽・芸能の変化と伝承」九学会連合地域文化の均質化編集委員会『地域文化の均質化』平凡社 平成6年2月28日。
2. 「沖縄音楽における音数律とリズムの形成」小島美子・藤井知昭編『日本の音の文化』第一書房 平成6年6月1日。
2. 「沖縄古典音楽における歌詞音価列の類型」『情報処理学会研究報告』94巻103号（94-MUS-8） 平成6年11月19日。
7. 研究動向「沖縄文化圏音楽研究の最前線」『東洋音楽研究』59号 平成6年8月31日。
- 2) 3. 国立民族学博物館共同研究「音の文化をめぐる表徴の比較研究」研究代表者：藤井知昭。

久万田 晋（講師、専任教員）

- 1) 2. 「奄美民謡旋律のリズム構造」小島美子・藤井知昭編『日本の音の文化』第一書房 平成6年6月1日。
2. 「沖永良部島和泊町手々知名の遊び踊り」『沖縄芸術の科学』7 平成6年3月31日。
4. 「動態としての奄美八月踊り研究」民俗芸能学会第49回研究例会 平成6年7月2日 早稲田大学演劇博物館。
7. 発表記録「奄美民謡の詞形とリズム形」金城厚編『南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究 平成5年度科学研究費補助金研究成果報告書』平成6年3月31日。
7. 書評「内田るり子著『沖縄の歌謡と音楽』」『東洋音楽研究』59号 平成6年8月31日。
7. 第2回ラオス民族文化調査 平成5年12月22日～平成6年1月7日。
7. 第3回ラオス民族文化調査 平成6年12月4日～12月19日。
- 2) 2. 「タイ・ラオス民族文化研究」研究代表者：加治工真市。

おわび

前号掲載した西岡敏論文「琉歌・組踊語における動詞の活用表」は、沖縄古語大辞典編集委員会の共同作業で得た資料を利用してなったものでありますが、それを付記で十分に伝ええなかったことと、『沖縄古語大辞典』が未完の段階で発表したことは時期尚早でありました。記して、お詫び申し上げます。以上のことを明記し、改めて『沖縄古語大辞典』編集委員諸氏に深く感謝いたします。

(文責：西岡敏)